

平成 30 (2018) 年度第 3 回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会  
議事概要

日時：平成 30 (2018) 年 7 月 19 日 (木) 14:00~16:45

場所：京都大学附属図書館 4 階 スタッフラウンジ

出席者（敬称略、順不同）：

大阪大学附属図書館	井上敏宏	
関西学院大学図書館運営課	服部耕一郎	
京都大学附属図書館	小松原記子	
神戸大学附属図書館	山崎真知子	
福知山公立大学総務企画・財務グループ	足立斉	
京都市立芸術大学連携推進課	角田敏昭	
同志社大学図書館	山口伊都代	
京都文教大学図書館	大浦伸子	
阪南大学研究部図書館	堤俊哉	
大阪体育大学図書館	那須浩子	以上 10 名
(オブザーバー)		
近畿大学生物理工学部事務部（会計・図書館担当）	伊豆田幸司	
奈良県立大学附属図書館	尾松謙一	
大谷大学図書館	山内美智	

配付資料：

- |                                    |        |
|------------------------------------|--------|
| 1 開催通知                             | 資料 1   |
| 2 大学図書館近畿イニシアティブ                   |        |
| ① 近畿イニシアとは？                        | 資料 2-1 |
| ② 近畿イニシア組織構成図                      | 資料 2-2 |
| ③ 大学図書館近畿イニシアティブ運営要綱               | 資料 2-3 |
| ④ 能力開発専門委員会設置要項                    | 資料 2-4 |
| ⑤ 能力開発専門委員会 委員一覧                   | 資料 2-5 |
| 3 平成 30 年度第 2 回能力開発専門委員会議事概要       | 資料 3   |
| 4 平成 30 年度能力開発専門委員会開催検討資料          |        |
| ① 開催日程検討資料                         | 資料 4-1 |
| ② 開催会場検討資料                         | 資料 4-2 |
| 5 平成 30 年度基礎研修「初任者研修」について          |        |
| ① 決算報告                             | 資料 5-1 |
| ② アンケート集計結果                        | 資料 5-2 |
| ③ 各委員研修まとめ                         | 資料 5-3 |
| ④ 2018 年度（平成 30 年度）初任者研修（近畿イニシアHP） | 資料 5-4 |

⑤ 平成 30 年度初任者研修役割分担表	資料 5-5
6 平成 31 年度研修事業について	
① 近畿イニシア研修プログラム (H17-H30)	資料 6-1
② 研修関係スケジュール表	資料 6-2
③ 日程表 (H29「中級研修」)	資料 6-3
7 平成 30 年度第 1 回運営委員会 (7 月 4 日)	資料 7

・ **議事に先立ち以下を確認した。**

- 1) 配付資料の確認
- 2) 委員自己紹介：新委員紹介を含め全員の自己紹介を行った。
- 3) 角田主査から資料 2-1 から資料 2-4 に基づき、大学図書館近畿イニシアティブ及び能力開発専門委員会の概要を説明した。
- 4) 角田主査から、副主査及び議事概要担当者の選出について説明があり、協議の結果、井上委員が担当することとした。
- 5) 資料 3 に基づき、前回の議事を確認した。

**議題**

**1. 平成 30 (2018) 年度基礎研修「初任者研修」について**

**1) 決算報告 (案)**

小松原委員から資料 5-1 に基づき、標記研修に関する収入及び支出内容の報告があり、内容を確認した。また、決算は本日の委員会開催前に、角田主査と山崎委員が報告書を確認した旨、報告があった。

**2) アンケート集計結果**

那須委員から資料 5-2 に基づき、今年度基礎研修「初任者研修」(以下、「初任者研修」と言う。)における受講者アンケートの回答集計について説明があり、内容を確認した。

**3) 研修会資料の Web 掲載について**

角田主査から資料 5-4 に基づき、初任者研修について公開している Web ページの内容について説明があり、内容を確認した。

**4) 成果と反省 (研修会のまとめ)**

各委員から資料 5-3 に基づき、初任者研修における担当毎の報告、感想、反省点及び次回に向けての提案等について説明があり、内容を確認した。主な意見等は以下のとおり。

- (1) 資料印刷：今年度、業者によるモノクロ印刷で 64,800 円だったが、これを一部カラーにすると 127,008 円との見積もりであった。
- (2) 研修者受付：昨年度は Google フォームによる Web 受付だったが、今年度から近畿イニシアの Web サイト内にフォームを設置した。特に問題はないので、次回も同じフォームを使用するのが良いと思われる。
- (3) 研修者担当：受講申込みの締切から、決定通知までのスケジュールがタイトで厳しかった。次年度は、天皇陛下譲位の関係で、5月の連休が拡大される可能性もあり、注意が必要である。
- (4) 会計：情報交換会費の領収証様式を改正し、省力化を図った。特に問題なく、効率的になったので、次回も同じ様式を使用するのが良いと思われる。
- (5) 受付：研修受付と情報交換会受付において、混乱があった。受付机に「研修受付」「情報交換会受付」と明記した札を貼る等、工夫が必要と思われる。
- (6) 講義：今回は質疑応答の時間がほとんど残らず、また質問も出なかった。研修の内容にもよるが今後、検討が必要と思われる。
- (7) 受講者持参の広報物：結局、多数残ったので、持ち帰りを許可するタイミングを早めた方が良いと思われる。展示は1日目のみで良いのではないか。
- (8) アイスブレイク：研修そのものではないが、とても有意義だった。
- (9) アンケート：受講者が回答する時間がとれていなかったなので、研修会中に書いてもらえる時間を設定しても良いかもしれない。
- (10) アンケート：手書きの回答を集計する手間はかなり大きい。改善の余地があるかもしれない。

## 2. 平成 31 (2019) 年度研修事業について

角田主査から資料 6-1 及び 6-2 に基づき、過去の研修について説明があり、次年度の研修について検討した。協議の結果、以下概要に沿って、今後検討を進めることとした。

2019 年度の研修は、一日開催の中級研修とし、2019 年 5 月の 24 日 (金)、30 日 (木)、31 日 (金) 頃の開催を目標とする。日程は講師の都合等もあるので今後さらに検討する。

また会場については、60 名程度収容可能で、ワークショップの運営に対応可能な施設を追って検討する。

また、中級研修のテーマについて以下 3 案の提示があり、検討した。

- ① 図書館における「広報」を考える
- ② プレゼンの話術を学ぶ

- ③ 「国立大学図書館協会・学術情報システム委員会「これからの学術情報システムに向けて：現状・課題・当面の方向性に関するレポート」を読み解く

それぞれのテーマについて、主な意見は以下のとおり。

- (1) 広報については、これまでの研修アンケートでも要望が多数寄せられており、常に需要が多いと思われる。
- (2) ②で利用者教育のみをテーマにすると、この業務を外部委託している機関では参加しづらいかもしれない。
- (3) プレゼンだけのテーマでは一日の研修にならないかもしれない。
- (4) ③のテーマは、小規模大学では興味を持ちづらいかもしれない。また、講師から受講者に向けた一方通行になりがちで、ワークショップが開きにくい。人的交流も研修目的のひとつとするなら、交流を深めにくく不適切ではないか。

協議の結果、利用者教育に限らない、たとえば教員や大学執行部への説明等も含めた広範囲へのプレゼンと広報の両面に関する内容で、賛助会員にもご協力いただく方式を具体的に検討することとした。詳細は今後、井上委員が検討し、これを基にメーリングリスト上で審議することとした。

なお、賛助会員に新しい形での協力を得る場合には、早期に運営委員会との相談が必要であることも確認した。

### 3. その他

#### 1) 第1回運営委員会報告

角田主査から、資料7に基づき、標記委員会の内容が報告された。特に、次回研修の配付資料について、初任者研修同様、印刷製本業者により、必要に応じてカラーページも含めた冊子で作成することが了承された旨、説明があった。

#### 2) 第4回能力開発専門委員会

角田主査から議事次第に基づき、標記について説明があり、開催について検討した。主な決定事項は以下のとおり。

- (1) 次回会場は同志社大学とし、11月頃に開催する。
- (2) 次回以降の候補は、関西学院大学、京都大学、阪南大学。
- (3) 主な議題は、次年度中級研修の内容詳細、研修当日の日程及び各委員の役割分担等。

以上